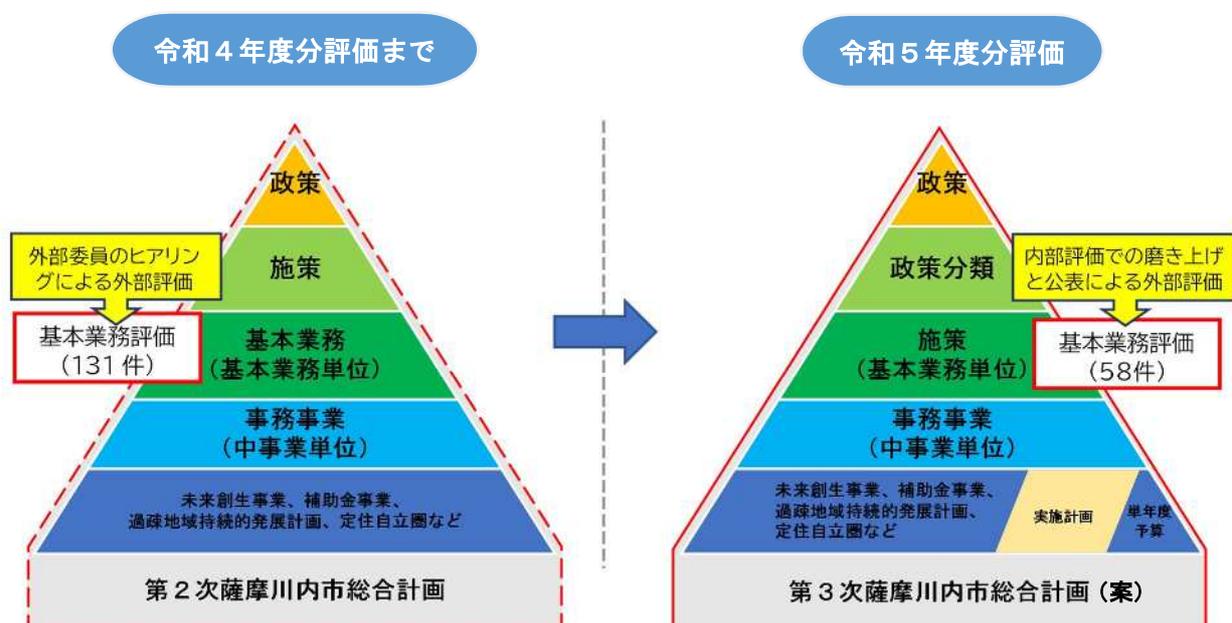


令和6年度に実施する令和5年度基本業務評価の結果について（概要）

1 基本業務評価の概要について

基本業務評価は、これまで内部評価のみで行ってきた市の行政評価を見直し、業務活動における市民にとっての効果及び成果などを「見える化」し、総合計画の実効性を高め、より良い市政運営に資することを目的としたものである。

令和5年度分においては、第3次薩摩川内市総合計画の始期であり、基本業務評価制度を本格実施する令和7年度に向けて、基本業務評価の件数の整理・集約や、評価方法を見直して実施した。



2 令和6年度に実施する令和5年度基本業務評価について

(1) 評価対象

第3次総合計画（令和7～16年度）における政策体系（政策・政策分類・施策）の「施策」を基準として、58に整理・集約等を行い、58の施策に集約できない事業は基本業務評価の対象としない。

(2) 評価方法

令和6年度に実施する令和5年度分の評価では、外部委員による評価は実施せず、これまでの外部評価からの意見を踏まえ、市民に分かりやすくより良い評価表の検討を継続して行い、内部評価による基本業務評価表の磨き上げを行い、その内容を市ホームページ等で公表することで外部評価とする。

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
評価対象	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
件数	1 3 3	1 3 1 ※議会分除く	58 ※第3次総合計画の施策数		
評価手法	事業内容全般、改革の方向性等を評価	主に指標(KPI)を評価	各課が作成した基本業務評価表のうち 第3次総合計画で定める指標(KPI)に着目し、事務局による内部評価		
	外部委員会のヒアリング評価		基本業務評価表の公表による外部評価		
区分	試行期間 			本格実施 	
総合計画	第2次 (H 2 7 ~ R 6)			第3次 (R 7 ~ R 1 6)	

3 評価結果について

(1) 評価結果の判定区分と基準

基本業務評価の内部評価は、以下の判定理由に基づき、事務局（企画政策課）で実施した。

評価結果	判定基準
基本業務の指標等について概ね適切である。	<ul style="list-style-type: none"> 市民にとって分かりやすい表現となっているか。 成果指標につながる活動指標となっているか。 「活動指標の目標値」等は、根拠を持った設定となっているか。 これまでの基本業務評価制度による外部評価の指摘等を踏まえた内容となっているか。
現在の指標に加えて、より良い新たな活動指標を検討されたい。	

(2) 評価結果の件数と割合

全ての基本業務の指標等について、概ね適切な設定がなされていると評価した。

評価結果	基本業務の指標等について概ね適切である。	現在の指標に加えて、より良い新たな活動指標を検討されたい。	合計
件数	58 件	0 件	58 件
割合	100%	0%	100%

4 評価結果を踏まえた今後の対応

内部評価を踏まえて今後も継続するものとし、成果指標の目標達成に向けて取り組むものとする。

なお、各施策の指標の目標値等については、「第3次薩摩川内市総合計画前期基本計画（案）」をもとに設定したものである。今回分（令和5年度基本業務評価表）の公表後も、令和6年度基本業務評価表の作成に向けて、総合計画基本構想審査特別委員会が出された意見を踏まえた検討・反映や市民アンケートを踏まえた数値更新を行うものとする。

5 総括

今年度の基本業務評価により、概ね適切な指標設定がなされたことから、今後も基本業務評価表の磨き上げを継続しつつ、各施策の目的達成に向けて指標をもとに取り組むものとする。